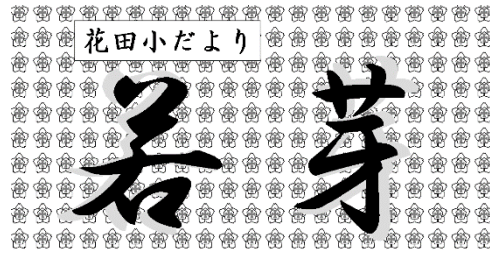


校 訓

からだをたいせつにしんけんにやるしっかり学ぶ



第46号

令和5年3月3日発行

編集・発行 豊橋市立花田小学校

3月1日、全校で6年生への感謝の気持ちを伝える「6年生を送る会」を行いました。5年生がリーダーシップを發揮し、会をしっかりと運営しました。各学年の出し物は、6年生に「楽しんでもらいたい」という思いがあふれていました。6年生は、温かな心で見たり聴いたり、拍手をしたり、フレンド班からの色紙に見入ったり…、喜んでくれました。在校生の思いが届き、6年生にとってすてきな時間になりました。



卒業を祝うメッセージ【2年掲示版】



フレンド班の色紙を大切に抱え、退場する6年生



兵庫県

都道府県名クイズ【4年生】



会を準備し、運営する5年生



お礼の気持ちを歌に込めて【1年生】



6年生に8の字跳びで勝負だ！【3年生】

輝く笑顔いっぱいの花田小学校 みんなちがって みんないい

校長 山田 昌弘

令和五年十月、花田小学校は創立百五十周年を迎えます。この記念事業の一環として二月、花田つ子が自分の輝く瞬間を絵画で表現する「輝く笑顔いっぱい」の花田小学校を制作しています。一人一人のイラストは、令和五年に創立百五十周年を迎えることを地域の方にお知らせするための横断幕に掲載をします。

この取り組みを始めるにあたり、一人一人がどのような瞬間を選び、どのような自分や友達を、どのような姿で表現するのだろうか、と、あれこれ楽しく想像していました。花田スポーツフェスティバルや学習発表会、修学旅行や野外教育活動などの学校・学年行事での自分を表現する子が多いのではないだろうか。日常の学校生活での一コマを選ぶ子もいるのではないかと。けれども、それはどんな場面なのだろうか…。

二月下旬、各学年から完成したイラストが手元に届き始めました。目を通すと、私の予想をはるかに超えた個性あふれる「輝く瞬間」が生きて表現されています。花田つ子の楽しそうな笑い声や友達を励ます声援などが聞こえてくるように感じました。

学校・学年行事の事を描く子はいずれも多かったのですが、しかし一人一人が表現している場面は多彩でした。また、縄跳びや跳び箱、算数の九九検定、器楽合奏、習字・読書会、校外学習、さらには入学式や30運動、読書や発言の場面を表現する子もいました。

どのイラストからも、力いっぱい取り組んだ達成感や仲間と協力できた喜び、心から楽しかったという心情など、一人一人の思いが伝わってきました。

さまざま思いが込められたイラストを目にして、令和四年度の教育活動が一人一人の成長に結びついているのを感じ、うれしく思いました。また、子どもたちの見方・考え方・感じ方は多様であり、一人一人の内面に丁寧に向いかけ、理解することが大切であると感じました。

特別なときだけではなく、日常の学習や学校生活においても、花田つ子は自分なりの興味・関心を抱き、真剣に力いっぱい活動しているというのを改めて実感し、うれしく思いました。

この記念事業は、私たち教職員にとって、子ども理解をより深め、

子どもに立ち、子どもにとって価値ある教育活動を進めていくことの大切さと必要性を再確認する機会となりました。連綿と続く花田小学校の教育は、地域の宝である子どもへの無限の可能性を引き出す教育、次代を担う人を育てる教育であると考えます。百五十周年を迎えるにあたり、これからも一人一人の個性・能力・もち味などを丁寧に捉え、最大限に伸ばしていきけるよう力を尽くしていきます。

保護者、地域の皆様におかれましては、今後も花田小学校の教育活動に對しまして、ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

※ 横断幕は、四月に学校の東西のフェンスに掲示します。花田つ子の「輝く笑顔」を、ぜひご覧ください。



各学年の教育活動

◎一年 「ぐんぐん成長した一年間」

生活科の学習では、昔遊びに取り組みました。けん玉やあやとりのことや友達同士で教え合う姿が見られ、練習を重ねるうちに、どんどん上達していききました。授業中や休み時間には、「ぼーちんぼうきができたよ」「けん玉で一分間に十回もお皿に乗せることができたよ」などの声が聞こえてきます。学習発表会「できるよになった」と発表会では、一年間を振り返り、発表したいことを自分で考え決めて披露しました。自分の好きなこと、得意なこと、挑戦したいことに夢中になってがんばることができている一年生です。



あやとり上手になったよ

◎二年 「元気に成長した一年間」

「一年生のお手本になりたい」という気持ちをもってスタートした二年生。一年生への学校案内、一年生を招待して行ったおもちゃまつりを経て、りっぱなお兄さんお姉さんに成長しました。三学期の生活科では、「自分ほっけん」の学習で、おうちの方へたくさんインタビューをして、自分が生まれた時の家族の気持ちや、幼かった頃のことを知りました。たくさんの方に大切に育てられてきたことを実感し、家族や周りの人の大切さを学びました。



おもちゃまつり

学年目標『かいじゅうのマーチ』に込めた願い通り、たくさんの人たちとの出会いを宝物にし、これからも成長し続けていってほしいと、信じています。

◎三年 「Sunflower」

三年生から始まった総合的な学習の時間では、地域で活躍する職人さんの思いにふれられました。祭りで使用されている法被や裃が、花田校区にある山佐染工所で制作されていることがわかった。子どもたちは、見学したいという気持ちになりました。山佐染工所ではプロの技を見たり、話を聞いたりする中で、職人さんの仕事への思いを知り、自分たちも地域を元気にしたいと考えました。そこで、自分たちがデザインした校章を刷った法被を着て、花田スポーツフェスティバルでソーラン節を元気に踊りました。



山佐染工所の見学・体験

理科では、チョウを育てたり、ヒマワリやダイズを育てたりしました。どのように育つのか、根の様子はどうなっているかを予想してから観察することで、科学的なものの見方を身につけることができました。

◎四年 「愛と100%」

社会科と総合的な学習を通して、社会を支えるさまざまな仕事や、歴史と伝統を重んじる豊橋筆を受け継ぐ人々の営みを学びました。自分たちが気づかないところで心を尽くして働く人たちの姿を知り、未来の自分の姿を重ねながら将来の夢への気持ちを高めました。

学習発表会「未来の自分へのメッセージ」では、自分を支えるすべての人への感謝の気持ちと未来の自分への決意表明をしました。十年間の成長によって育まれた心と体から、あふれる勇気を未来の自分へ届けます。



豊橋筆づくりの見学・体験

◎五年 「心の『笑顔』」

学年目標は、「笑顔」。子どもたちは、野外教育活動・花田スポーツフェスティバル・六年生を送る会といった行事、さらには総合的な学習の時間で学んだ「福祉学習」を通して、心の「笑顔」が増えました。特に、盲導犬・車いす体験・豊橋駅のバリアフリー調査などから、お年寄りや障害をもった方々と共に暮らすために心がけることを考えたことで、相手の立場を理解することの大切さを学びました。



車いす体験

四月から、最髙学年となりました。多くの場面で花田小学校を引っ張ります。そのような時、心の『笑顔』が今年以上に見られることを期待しています。

◎六年 「脈々と伝わる花田の誇りを胸に」

社会科では、市文化財センターから学芸員さんを招き、百度屋敷と二人の百度右衛門について学びました。地域の偉人が戦国時代に活躍したことや、変化する時代の中で、大きな決断を下したことを知り、その生き方を自分に重ねて考える姿がみられました。

総合的な学習の時間では、伊勢屋商店を見学しました。日本酒は厳格な温度管理によって造られること、米の品種や削り方、麴で味が大きく変わることを知り、子どもたちは一世紀以上も受け継がれる伝統の製法に思いを寄せていました。

残り少なくなった小学校生活、中学校への進学を意識し、今まで以上に友達を思いやり、意欲的に学習し励んでいます。地域に脈々と伝わる花田の誇りを胸に、誰もが晴れやかな表情で卒業の日を迎えることを願っています。



学芸員と校区の史跡の見学

◎たんぼほろ級 級訓「たんぼほ」

風雨に負けずに地中にしっかりと根をはり、みんなから愛される美しい花を咲かせるたんぼほ。綿毛になったたんぼほは、風を受け、育った場所から遠くの場所へ、新たな環境へと旅立ちます。この様子は、たんぼほが級の子どもたちが、学校で生活や学習の基礎・基本を身につけて、将来社会に出て活躍する姿に重なります。級訓「たんぼほ」には、将来の社会的自立に向けた成長への願いを込めています。

一年間、学級や交流学級で仲よく過ごしたり、協力して活動したりする中で、一人一人が大きく成長しました。できることをたくさん増やすこともできました。次年度も成長する姿が見られることを期待しています。

三年ぶりに豊橋市内の特別支援学級・特別支援学校・保育園・幼稚園の友達が総合体育館に集まり、サンタさんからプレゼントをもらったり、みんなで踊ったりして楽しい時間を過ごしました。



市・クリスマスの集い

新・花田キッズ

本年度の「花田キッズ」は、出演希望者が動画を応募する形に変更しました。撮影場所は自由。内容も、人数も自由。タブレット端末で動画を作成・編集し、担当者か内容を確認した後に、全校放送で流しています。これまでに、歌・ダンス・コント・スケート・サッカードリブル・スケートボード・イラストの描き方・ピアノ・器楽演奏・手品・ルービックキューブなどが発表されました。放送後には、全校から温かな拍手が送られています。花田キッズのこれからは、楽しみます。



校歌を歌うよ

令和4年度 花田小学校「教育活動の評価」

中期目標	重点努力目標（評価項目）		自己評価	総合評価	関係者評価	今後の改善方策等
<p>子どもの主体性を引き出す授業づくりを工夫し、生活に生きて働く知識・技能の習得と、よりよく問題を解決する資質・能力の育成に</p>	<p>子どもの主体性を引き出す授業づくり</p>	<p>「できた」「わかった」「もっとやりたい」という学ぶ意欲を高める授業づくりに努め、基礎・基本となる学力の定着・向上を図る。</p>	B	B	B	<p>年3回のチャレンジテストでは各自が目標をもち、取り組めるようにする。子どもたちの探究心や学ぶ意欲を高めるのに効果的なことから次年度も、校外学習や体験学習を重視し、学力の定着を図る。 学年相応のタブレット端末の使い方を習得させ、高学年では資料をまとめたり発信したりする力を伸ばしていく。</p>
	<p>生活に生きて働く知識・技能の習得と、よりよく問題を解決する資質・能力の育成</p>	<p>①地域の「ひと・もの・こと」を活用した学習や問題解決的な学習、タブレット端末を活用した学習を積極的に取り入れる。 ②学び合いや発表の場を計画的に仕組み、思考力・判断力・表現力を育成する。</p>	A			
<p>道徳教育と特別活動の充実を努め、自主・自律の心、思いやり・感謝の心の育成</p>	<p>自主・自律の心、思いやり・感謝の心の育成</p>	<p>①自分の居場所があり、自分のよさを発揮できる温かな学級・学年集団づくりに努める。 ②各行事後、学級活動後に「心の花運動」を実践する。</p>	B	B	B	<p>自分の居場所がある学級づくりを学級経営の基本とし、全職員で取り組む。「心の花運動」は、子どもたちの心を育てる活動として継続していく。さらに、カードの活用方法を工夫し、子どもたちがお互いを認め合うツールになるようにしていく。 道徳は、今後も大切にし、心の教育に力を入れていく。 感染予防に留意し、フレンド活動や異学年交流を充実させていく。</p>
	<p>道徳教育、特別活動の充実</p>	<p>①子どもが互いのよさや努力を認め合う場を、朝の会・帰りの会、授業において積極的に取り入れる。 ②子ども理解を基に成長への願いをかけ、子どもの自主的な取り組みや自律的な言動、他者を思いやる言動などを、積極的に「認め・褒め・励ます」言葉かけをする。</p>	A			
<p>安全安心でできる教育環境づくりに貢献を尽くす。</p>	<p>健康、安全教育の充実</p>	<p>①感染症予防や食物アレルギー対応に組織的に取り組める仕組みをつくる。 ②避難訓練、不審者対応やけが防止など、自分の「いのち・からだ」を自分で守れるよう計画的に指導を行う。</p>	A	A	A	<p>子どもが安心・安全に学校生活を送ることができるように教員研修を計画的に実施する。子ども自身も自分の命を自分で守れるように避難訓練や安全教育で指導していく。 校内の事故やけがを教訓として、再発防止のために最善を尽くすとともに、日常の安全管理に努める。 子どもの小さな変化を見逃さないようにする。職員同士、担任と保護者が連携して新たな一人を出さないように努める。</p>
	<p>安全指導と安全管理の徹底</p>	<p>実験・実技などの授業や校外学習における安全指導と、日常的な安全管理の徹底を図る。</p>	B			
	<p>いじめや不登校の未然防止と早期対応</p>	<p>①子どもの小さな変化を早期に発見し、早期に対応できる体制づくりに努める。 ②市教委作成の「生活サポートカレンダー」を活用する。</p>	A			
<p>教職員が心身共に健康で、教育のプロとしての力量向上を図ろうとする職場づくりを努める。</p>	<p>授業力・指導力の向上</p>	<p>①学習評価（三観点）と「はなだポイント」に重点を置いた現職研修の充実を図る。 ②教職員の持ち味・専門性を生かし、学び合う教職員集団づくりをめざす。</p>	A	B	B	<p>子どもにどんな力をつけたいのかという願いを明確にし、授業改善に努める。授業などでICT機器を積極的に活用していく。 分掌や行事で多忙な時期があるため在校時間が長くなる職員もいる。計画的に先を見通した取り組みができるよう引き続きタイムマネジメントの意識啓発に努める。また、チームで協働し、業務の平準化を図る。</p>
	<p>働き方改革の継続・推進</p>	<p>①ノー残業デーを毎月設定したり、2週間分の週報を配付したりし、計画的に業務を進められるように配慮し、各自のタイムマネジメント意識、メンタルヘルスへの意識を高める。 ②会議の目的により、時間・参加者・協議方法を工夫し効率化を図る。</p>	B			

※評価 A…十分に達成した B…概ね達成した C…あまり達成されていない D…ほとんど達成されていない

学校改善に向けて

上記の表は、十一月までの花田小学校の学級経営について、児童、保護者、教職員を対象に実施したアンケート調査の結果をもとに、学校の自己評価と学校サポート委員（学級評議員）の意見・評価をまとめたものです。「今後の改善方策等」に記載した目標や方策を柱として、令和5年度の教育活動の充実・改善に努めてまいります。

保護者の皆様からは、多くの貴重なご意見やご要望をいただきました。アンケートへのご協力ありがとうございました。

本年度、初めてウェブによるアンケート調査を実施し、回答と集計作業の効率化を図りました。今後、この方法で実施してまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



中庭の河津桜が満開です（三月三日）。桜の前で記念写真を撮影する学級が見られます。花田小学校の風物詩です。

